

コロナ禍で困難を抱える女性支援事業【神戸市】

| | |
|------|-----------|
| 総事業費 | 10,896 千円 |
| 交付金額 | 7,788 千円 |

地域の実情と課題

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけとして、就業面から生活面にわたって困難・課題を抱える女性の問題が顕在化しているが、孤独・孤立で不安を抱える女性に対して、社会とのつながりの回復に向けた支援を行うため、専門相談支援等による相談環境の充実を図る。

目的・目標

- ・就業面から生活面まで、支援をもとめる女性に対し、個々の事情に寄り添った専門的相談支援を、継続的に実施。
- ・事業実施期間における延べ相談・支援数は、目標の700名を達成。

事業の特徴

- 生理用品を公共施設や学校等で配布し、SNS相談や相談会への参加のきっかけとする。
- 相談会等で、就業面から生活面まで、困難や課題を抱える女性たちへの専門相談支援を行い、女性の悩み全般について受付、孤独・孤立にならないよう継続的に支援を行う。

連携団体

- ・NPO法人女性と子ども支援センターウイメンズネット・こうべ
- ・公益財団法人関西カウンセリングセンター
- ・兵庫県、マザーズハローワーク
- ・兵庫労働局
- ・市立学校(小学校、中学校、高等学校)
- ・ひとり親家庭支援センター
- ・DVセンター
- ・その他民間シェルター 等

事業の効果

SNS相談 登録者数168名 相談実施84名
 相談会 来場者691名 専門相談件数109名
 女性のためのホットスペース利用者 193名
 これまで困難を抱えながら、相談先が分からなかったり、相談しづらかったとの女性の声があったが、本事業の実施により相談ができ、個々の情報に寄り添った支援となった。

今後の課題

令和4年度は、若年層が相談しやすいSNS相談を新たに実施。若年層の利用も一定数あったが、全体として登録者数、相談件数とも少なかった。一方、男女共同参画センターにおいても、女性のための電話相談を実施しているが、1回線しかなく、つながりにくい状況が続いているため、R5年度は当事業専用の電話相談を開設を検討する。

事業の概要

- ①専門相談窓口につなげるためのSNS相談の実施(NPO等に委託)
R4年度は若年層にも相談しやすいように、SNS相談を開設
支援が行き届きにくい世代の不安や困難を把握・分析するとともに、
各種、相談窓口・機関につなげる。
- ②各種専門家による相談会の実施(NPO等に委託)
生理用品・生活用品(寄付品)等の配布や子供向けイベントとセットで、
弁護士、司法書士、看護師等の各種専門家による「無料専門相談」を実施し、
専門相談につながっていない対象者の来場を促し、相談につなげる。
- ③女性のためのほっとスペースの実施(NPO等に委託)
②を開催しない月につながり支援を継続するため、少人数でのおしゃべり会を実施。
- ④購入した生理用品を公共施設や学校等で配布(NPO等に委託)
SNS相談や相談会の情報を記したカードを添付した生理用品を、公共施設や学校等
で配布し、相談につなげる。
- ⑤相談記録システムの構築
現在、紙媒体で記録している女性向けの電話・面談相談について、
統計的な分析ができていないため、相談記録の分析のための
簡易なシステムを導入することでより効果的な支援につなげる。